

龍谷顕真会会報

— も く じ —

台湾視察参加者レポート.....	2
平成8年度 会員活動報告.....	10
平成8年度 総会報告、世話人会報告、会員の動静.....	13

'96 海外視察はバンコクへ 10月15日(火)～18日(金)



▲日月潭の玄奘寺に参拝

〈特集〉'95 台湾の旅



▲台中の光明寺に参拝

「やれやれ、パンクとはねえ…」▶



第3回海外視察レポート

特集 '95
台湾の旅



龍谷顕真会の第三回海外視察を昨年十月二十四日から二十七日までの四日間実施いたしました。参加者は会員、寺族、門徒併せて第二回より十一人多い二十五人。訪問先はわが国との結びつきも深く、政治的に微妙な立場にある台湾の台北、台中、日月潭を訪問。台北の市役所を訪問し、台中では開教地寺院の光明寺に参拝したほか老人ホーム・市立「仁愛之家」など通常の観光旅行で訪問出来ないところも訪問しました。ここに参加者のレポートを掲載し、視察報告とさせていただきます。

嬉しかった親日感情

団長・山口県美祿市議 川越 証 真

龍谷顕真会の第三回海外視察は二十三名の参加を得て台湾に向いました。

十月二十四日（火）から二十七日（金）まで三泊四日の旅でした。

第一日は昼前、台北到着後専用バスで日月潭へ向いました。途中バナナ園の見学を行いました。

二日は日月潭埔里地区の観光で、文武廟、九族文化村などを訪ずれ、午後は台中に向い、台湾唯一の本派寺院光明寺に参拝を致しました。

光明寺では寺の縁起と現況の説明を受け、

戦中、戦後にわたり苦労を重ね、今立派な本堂を建立された陳住職の話に、一同深い感動を覚えました。門信徒代表の方々の歓待を受け、一緒に歌った真宗々歌が印象的でした。

夜は住職、寺族の方々をお招きして懇親会を催し、交流を深めることが出来ました。

三日目は公立の福祉施設を訪問し、その規模の大きさに一驚しました。

その後、小人国の観光を行い、午後は台北に移動し、台北市役所を表敬訪問しました。さらに忠烈祠、故宮博物院を訪ねました。

四日目は台北市内の観光で、中正記念堂の見学を行い、ショッピングを楽しみながら午後の便でそれぞれ、福岡空港、関西空港へ無

事到着することが出来ました。

旅行中は事務局の神山さん、芝原さんには何かとお世話になりました。感謝致します。

台湾は九州位の面積で小さい島ですが、開発への意欲にあふれています。

我が国と国情は違いますが、中国との関係で多くの文化遺産を持っています。

我が国が中国から多くの文化的伝統の影響を受けている関係で我々の興味をそそるものも多く、戦前の統治がうまく行っていた関係上、親日的であり四日間の旅も楽しいものでありました。団員の皆様も多くの収穫を得られたものと確信しています。

海の内外のへだてなく

副団長・山口県議 藤谷 光 信

一九九五年十月二十五日、龍谷顕真会の視察旅行の第一の目的ともいえる台中市の光明寺へ向かいました。

朝、日月潭の文武廟と九族文化村などを見学し、お昼は台湾の料理をいただきました。レストランは一階が土産物店で、あまりきれいとはいえませんが、二階がレストランになっており、気さくなママさんが自ら調理して接待してくれました。台湾の家庭料理ということでした。わりとあっさりした味で、おいしくいただきました。



「仁愛之家」の園舎を視察

スウェーデンのボルボ社製の特大の貸切バスで快適に走って行きましたが、途中、双冬というところでタイヤがパンクしました。二時間四十分おくれで、台中市へ入りました。台中市は、大変活気のある大都市で、車やバイクの洪水です。

四時二十分頃に、光明寺へ到着しました。

この光明寺は、台湾唯一の浄土真宗本願寺派の寺院で、住職は台湾国籍の陳淨信師です。七十歳位の年令の方々が十数人で、寺の門前で待っておられました。バスが着きますと、目の前で爆竹を鳴らして大歓迎していただきました。

すぐに一階の本堂に入りました。本堂は四十坪くらいの広さがあり地下一階、地上三階

のビルです。ビルそのものがお寺です。

正面には阿弥陀如来が安置してあります。

前卓は、大理石と黒檀を使ったもので、お供えなどは、南国らしい花やローソクで、荘厳がしてありました。

本堂の右側の壁面には大きな大理石の板に重誓偈が彫ってありました。

読経は龍谷顕真会の荒木行也氏が導師をされ、讃仏偈を全員でお勤めました。

そして読経のあと、二階のホールに移動して意見交換をしたのですが、先ほどお迎えいただきました地元の方々も上がって来られて、私達と話し合いをしました。

二階の講堂にも、やはり阿弥陀様が安置してあります。これは、戦前に台湾にありました浄土真宗本願寺派のどこかのお寺にあった阿弥陀如来の木佛だそうです。

光明寺の前住職の坊守様のオルガンの伴奏で真宗宗歌を歌いました。

海の内外のへだてなく

みおやの徳のとうとさを

わがはらからにつたへつつ

みくにの旅をとみにせん

感動で胸が熱くなりました
さて、この台中市の光明寺は、元駐在開教使の陳銘芳氏によって、昭和二十九年に創立されました。

昭和四十六年五月には、大谷光照前門様が

第一次のご巡教になり、昭和五十四年五月と、昭和五十八年十二月のビルが建設された時と、三回のご巡教がなされておるそうです。また、現大谷光真ご門主様もご巡教に来られたそうでございます。

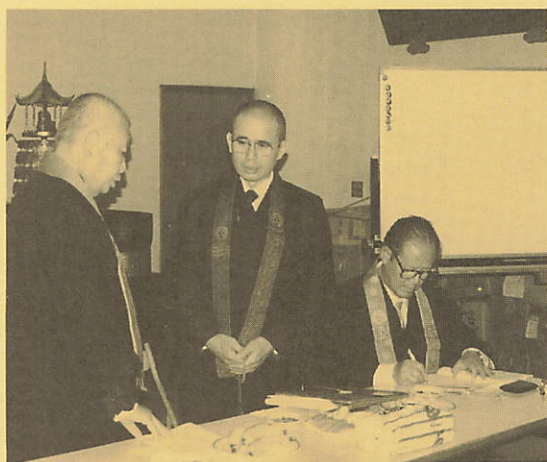
現在は、その陳銘芳氏のご子息の二代目の陳浄信氏のご住職で、門信徒が約四百名、仏教婦人会が約百名で構成され、法要など月例行事を中心に教化活動が行われております。

しかし、太平洋戦争が終結した昭和二十年八月十五日以降は、日本人排斥が激しく、真宗教団は厳しく弾圧されました。その中で、陳銘芳氏は数名の台湾開教使によって、念仏のみ教えがここまで守られ続けてきたことには、頭のさがる思いがしました。

陳浄信師のお話では、

「前任職の陳銘芳氏は生涯を念仏のみ教えにささげ、また念仏に生かされてきました。台湾は、出家仏教中心ですので、念仏のみ教えを伝えることは、苦難の連続でした。私は、住職を継承して十三年になります。龍谷大学で勉強しました。台湾は迷信が多く、布教は大変むづかしいのでございます。しかし、皆さんに支えられ頑張っております。去年から、九族文化村の近くに約百六十坪の土地を用意し、第二光明寺の建立を計画しています。」

このビルは三階建てで、地下は食堂になっており、図書室を兼ねています。庫裏は三階に



光明寺との交流会で陳住職が挨拶

あります。

二階のホールでの話し合いでは、色々話が弾みました。お茶の時間に、おつまみに落花生が出ましたが、大変珍しい柔らかい落花生でした。果物は新鮮なスターフルーツ（楊桃）が用意されていました。

光明寺の信徒の中に、八十六歳になる林有徳さんという方がおられました。この方は、旧豊原市長で、今は画家として、また総代さんとして頑張っておられ、仏教壮年会のお世話をされています。もう四十六年くらい信徒総代をやっているとおっしゃっていました。きれいな日本語で、お念仏の大切さ、日本人の勤勉さなど、熱弁をふるわれました。

その二階のホールには額に「慈悲喜捨」、

またもう一つの額には「光明無量」、そしてもう一つは「浄土莊嚴」の額が掛かっておりました。

また書棚には、大藏経や、赤本のお聖教が沢山ありました。そして、多くの古い仏書があり、前任職の陳銘芳氏の勉学のあとが伺えました。

この懇談の中で感じましたことは、念仏のみ教えを台湾の地に広めるためには、日本の同信、同行の人たちの暖かい力強い支援がもっと必要であると思いました。

陳浄信現住職は、勿論日本語が出来ますし、前坊守も日本語が大変達者でございますが、現坊守さんは、日本語があまり上手ではありません。現在、小学校の先生です。学校に勤めながら、この光明寺を支えておられる大きな柱だと感じました。

夜は七時から知心園という有名な料亭にて豪華な北京料理をいただきました。住職、前坊守さん、それから総代さんたちも交えまして、紹興酒で「乾杯」、「乾杯」と大変なごやかな台湾の夜を過ごしました。

ちようど十月二十五日は、台湾の光復節といって独立記念日で、空には火花が上ががり、私達の一行を歓迎してくれるような秋の夜でした。

充実した有意義な交流のひとつを過ごさせていただき、ありがとうございました。

交通事情に啞然

和歌山県由良町議 永原 智 徳

台湾の主要都市として、台北、台中、高雄の三大都市がある。その三番目に大きな都市台中に本願寺派唯一の寺院（陳一信住職）がある。

大阪関西国際空港から台北まで二時間三十

分。台北からバスにて台中まで同じような所要時間が必要とする。

台中、台北の町中で一番驚かされることは、原付バイク、スクーターの多さである。二人乗りは当たり前。なかには親子四人乗りという風景を目の当たりにした。台湾では原付バイクに対する規制はほとんどなく、ヘルメットなしという現状。父親の運転するバイクの後ろで小さな女の子がお菓子を食べながら走り抜ける姿に啞然とする。また、ほとんどが

信号無視で、よく事故が起きないものだと逆に感心させられた。

旅行二日目観光バスで二時間遅れて台中光明寺に到着。台湾の習慣で歓迎のセレモニーとして玄関先で爆竹を鳴らす。突然の出来事に参加者全員驚いたことであった。住職さん、ご門徒の皆さんが出迎えて下さいました。古いお寺を想像していた私であったが、地下一階地上五階建ての鉄筋造りのお寺なのだ。

地下一階が納骨堂、地上一階が本堂、二階のお内佛でお勤めの後、住職様よりお話を頂いた。台湾においてはいかなる仏教宗派も中国仏教協会に統括され、その会員にならないければならない行政上の問題があり、浄土真宗を全面的に押し出せない事情、前任住職様、また前坊守様の終戦後の厳しい反日感情や日系の仏教教団への弾圧のなかでのご苦勞を聞かせて頂いた。

現在、台中にお寺を建立中ということであるが、状況はかなりきついというご住職のお話であった。

玄関先まで私たちを見送って下さったご住職様の笑顔の裏には、厳しい現状のなかで浄土真宗のみ教えを守ってこられたご苦勞を感じさせて頂いた。

世界の各国で浄土真宗のみ教えが生きている。私もいまの現状に甘える事なく、氣を引き締めて頑張らねばと思ったことである。



光明寺の寺族の
皆さんと懇親会



日月潭のホテルで夕食



お母さんと一緒に
ホテルのベランダで



日月潭のホテルで朝食

よかたいね台湾

福岡県高田町議 荒木 行也

第三回の龍谷顕真会の海外視察は台湾を視察することになり、第一回ハワイ、第二回韓国と三年連続して参加させていただきました。過去の視察人数を上回る二十五人の参加がありましたことを非常に喜んでおります。

参加のたびにいつも思うことですが、通常の観光旅行では訪問できない所を見学、訪問をさせていただき、今回の視察もただ見て終わりでなく、人との出会い、心に残るものを体験させて頂きました。ついては、その一部を報告させて頂きます。

とくに、台湾開教地寺院の光明寺参拝は有意義な視察となりました。勤行の調声を小生が勤めさせて頂き、交流会では開教のご苦労をお聞かせいただくとともに、今日までお念仏の灯をお護り頂いたことに万感の思いをいたしましたことでありました。今後、宗派が当地の開教の促進に努めて下さることを願ったことであります。

また、福祉施設の視察として台中市立の「仁愛之家」（老人ホーム）を、光明寺のご門徒のお世話で訪問をさせて頂きました。「仁愛之家」の陳冠豪主任の出迎えを受け、

広大な園内の施設を案内頂きました。園内の老人がたは日本語を話される方が多く、なかには昔、大阪市内に居住されていたご婦人もおられ戦前の日本統治時代、今日までの両国間の歴史を感じることであります。

行政の視察として光明寺門徒の令嬢にお世話をいただき、台北市役所の訪問が実現しました。市政府職員の方に資料館の案内を頂き、資料館で台北市の都市計画のビデオ鑑賞並びに模型等を見学しました。人口約二七〇万人を擁するアジア有数の国際観光都市としての発展、台湾の政治、経済、文化、産業の中心、近代化と巨大化を続けるこの都市のエネルギーを肌身感じたことであります。また、先に述べたように台湾は我が国との結び付きも深く、多大に日本の影響を受けていることや、国際社会において微妙な立場にあることも併せて実感できました。なお、市長との面談は公務不在のため実現できませんでした。

最後に台湾に行けばここだけは見逃せないのが故宮博物院であります。中国五千年の歴史と文化、芸術の殿堂であり、フランスのルーブル、アメリカのメトロポリタン、ロシアのエルミタージュとともに世界の四大博物館のひとつに数えられている博物院であります。新石器時代から歴代王朝の献上品など、世界に誇る文物が七十万点余所蔵されており、常時一万二千点が展示されています。すべてを



台北市役所の資料館を見学

丹念に見てまわるには、一日あっても足りないくらいで、今回の視察日程を全部費やしても価値のあるものであります。

以上、今回の視察に参加して私の心に残るところのいったんを述べさせて頂きました。

父ゆかりの地に立つ

兵庫御津町議 小泉 玲子

台湾はしゅうと（主人の父）が大正六、七年の頃台北別院で駐在布教使（副輪番でもあった）として活躍したということもあり、かねがね一度は行ってみたいと思っていたところでありました。はからずも今回龍谷顕真会の視察旅行のご案内を頂き、願ってもないことと、早々と申込みをいたしました。

関空でJTBの藤原さん、広報部の神山さんの出迎えを受け、キャセイ航空565便で台湾に向かいました。二時間三十分の快適な空の旅の後、台北、中正空港に着陸、南国らしい熱気を帯びた空気が印象的でした。現地のガイド陳さんの手配するバスに乗り、一路目的地日月潭に出発しました。：が、途中大きな震動を覚え、事故かとびっくり。なんと私たちの脳裏から久しく離れていたパンクでした。スペアタイヤもなく、修理場までそのままガタゴトと走り予定より四十分遅れで、今回の研修がようやくはじまりました。四日間のあいだに、日月潭、文武廟、九族文化村、光明寺、福祉施設訪問、小人国、忠烈祠、故宮博物院、台北市役所表敬訪問等と視察研修させていただきましたが、とくに光明寺様で

は、終戦後の弾圧、並々ならぬご苦労のお話を聞かせて頂き、そのお力によってお念仏が台湾の地に、今なお絶えることなく根づいていることを知り、本当に感無量でございました。

かつての父（しゅうと）達の開教使の足あとが、今なお、きれずに、今日に至ったことは陳さんの身を張ってのご相続のたまものと、父の姿とだぶりながら、只々感謝、感謝で目頭があつくまりました。寺号はその名もふさわしく光明寺、思わず合掌、お念仏申したいです。

台湾はすばらしい風土と資源を持つ国です。しかしまだまだ開発途上で、市内は工事が多くほこりっぽく、街を走る車はどれもほこりだらけ、洗車することは殆んどないそうです。車は日本の中古車が多く、ホンダ、スズキが目につきました。

しかし特筆したいことは、他のどこの国よりも食事がおいしかったことです。今回の視察で疲れを感じなかったことの大きな原因の



日月潭のホテルで四川料理を満喫

一つであったと思います。よく海外には梅干し佃煮の類を持って行く人がありますが、今回はその必要は全くなく、持って帰ることになったとの言葉を聞きました。四川料理、海鮮料理、広東料理、どれも山海の幸をふんだんに生かし、なんともいえない複雑な味にみんな舌つづみを打ちながら、たのしい食事のひとときを送れました。日本にある中華料理よりもより日本人好みの味。なかでも台湾の家庭料理のおいしかったことは、もう一度ゆくりグルメ旅行に來たいと思ったほどでした。外国とはいえ、道行く人は、まるで日本人、その上日本語の上手な人も多く、服装も特に変わったものではなく、日本の延長といった感じでした。文武廟では、「慈父之恩高如山王、慈母恩似大海」の言葉を目にした時、半世紀前の授業風景を想い出し、なつかしいいでした。

お念仏のもとに、よき友と出あえたこと、語ったこと、味わったこと、充実した四日間でした。本当に皆様ありがとうございました。いくつかのトラブル（二日連続のパンク）はありましたが、予定通りの視察研修をさせて頂きましたことは、偏に団長様（川越先生）副団長様（藤谷先生）それに広報部のお二方のご尽力のお陰とよろこんでおります。厚くお礼申し上げます。楽しかった旅の余韻にひたりつつ雑感をのべさせて頂きました。

最後までやわらかく

広報部課長 神山 佐夜子

龍谷顕真会台湾研修に参加させていただき
ました。

まず今回の主な目的は本願寺派の光明寺参拝、国営老人ホーム訪問、台北市役所訪問などです。台湾到着二日目、予定通り文武廟、九族文化村を見学し、光明寺にバスで向かいました。

光明寺は台湾で現在はたった一つの本願寺派のお寺で台中市にあります。JTBの現地ガイド陳さんが案内してくれるのですが、バスと大きな音がしてバスがパンクしました。じつは一日目もパンクしましたが、今度は台湾建国記念日で技術者やタイヤがなくて、二時間四十分待たされました。「お買物ができるところに止めてよ」といいながらおしゃべりをしました。バスは外国製ですが古いものです。成長に追いつかない昭和三十年代の日本を見る思いがしました。遅れながら光明寺に到着いたしました。

まず真宗宗歌をと前坊守さんがいわれ全員唱和しました。戦前の台湾開教は明如上人が巡遊された明治二十八年に始まり終戦まで三十六教場があったと海外開教史に書かれています。



湖畔を背に

ます。真宗教団の弾圧のきびしい中で陳銘芳先代住職ががんばられたのです。台湾の地にきて三十六も寺院が建立されていたのが感銘深かったです。讀仏偈をお勤めし、ご導師は荒木先生にお願いいたしました。

小泉先生の義父さん、広報部の芝原さんの祖父さんが台湾開教使をされていたのでお話を聞きながら昔の台湾が浮かんで一諸にご苦労を思いました。

いつも夕食の時には、つぎつぎとご意見ご挨拶をしていただくのですが、最後の夜、熊本の前原鉄之丞さんが「私は名前に金がありますが名前負けしてお金に縁がありません」みたいなことをおっしゃって、JTBの藤原さんもおもしろすぎて、「一生忘れない」といっていました。

バスは何度もパンクしましたが、台湾は二度目ですが、今回は最後まではつとする様なやわらかさで包まれていました。

パンクが酒代に

広報部賛事 芝原文雄

龍谷顕真会海外視察もはや三回目を迎え、今年も総勢二十五名の参加のもと、一路「台湾」へ。

十月二十四日正午、無事に空港に到着。一行はバスでその日の観光・宿泊地である台湾最大の天然湖「日月潭」に向かった。

高速道路を走行中の三十分ほど過ぎたころで、『パーン』という爆発音が耳もとをはしると、バスは急に減速しながら路肩に急停車。バスの横は田園、そのままそこに横転かと肝を冷やす「助かった」。つまりいきなりの「パンク」である。中国語で「爆胎」（ポウタイ）と言う。日本では考えられないことであるが、ご当地は日本の古タイヤを使用のことで日常茶飯時のこと。

第二回海外視察（韓国）ではバスの接触事故に巻き込まれた経緯があった。どうも該会の海外視察はしっかり保険に加入しておく必要がある。電車で揺られるようにバスは路肩を走行し、修理工場（輪胎行）に向う。降車してタイヤを見ると見事にゴムが乱れ飛んでいる。修理されたバスは夕刻無事にホテルに到着。昼間の爆胎も忘れるように、中部台湾

随一の景勝を眺めつつ明日の訪問先「光明寺」に連絡を取る。

翌朝、午前の観光を終え、午後は台湾開教地唯一の寺院「光明寺」に向け台中市へ。

午後一時すぎ、またもや走行中のバスが減速。まさかと思ったが、今度はもう一方のタイヤが「爆胎」。現地ガイドの陳氏もさすがに顔が引きつっている。本人いわく「十八年間この仕事に携わっているが、初めてのこと」

「わしも初めてじゃ」と心の中で叫んでしまった。二度目になると私自身も変に落ち着きをはなつていてすべて「おまかせ」の境地になっていた。

一般のツアーならお客様の強い苦情が出て当たり前であるが、さすが念仏者の団体、今度は修理ではなく、代車がくるまで世間話をしながらの待機となった。二度の「爆胎」に遭いながらも龍谷顕真会号は数々の災難を乗り越え光明寺に向かう。

光明寺に到着すると爆竹で歓迎を受けるが、私の耳はパンクと同じ音で耳慣れしていた。該寺の参拝、交流会後、住職、寺族、役員の皆さんをご招待し宴を催す。いうまでもなく、この宴会の酒代は現地旅行社持ちとなり、参加者のみなさまには「爆酒」がふるまわれたのである。

さらに、今回の光明寺参拝には私自身の強い思い入れがありました。戦前、祖父が昭和

三年ごろ開教師として、また、祖父の実兄が開教総長（輪番）として台湾別院の建立に従事していたことを父から聞かされていたことから、光明寺住職のお母さんである陳林月桂前坊守の苦労話をお聞かせ頂いたとき、開教に従事された先人のご苦勞を偲ぶとともに、もう一度お念仏の道場が台湾の地に根付くことを念願したことであります。

後の視察日程については、陳林月桂前坊守に渡台前から、台中市立の老人ホーム「仁愛之家」、台北市役所等に訪問のコンタクトを取って頂いており、「爆胎」に遭遇することなく順調に視察日程を終えさせていただきました。

再度、台湾を訪れるとき開教の促進に微力ではありますが、お役にたてればと思いつつ空港をあとにしました。

謝、再見。（ありがとう・さようなら）

九族の冠をかぶり

「皆さん、おつかれさま」＝九族文化村で



九族の冠をかぶり

「皆さん、おつかれさま」＝九族文化村で

海外視察日程

10月24日 (火)	関西空港発 福岡空港発 中正国際空港着	空路台湾へ バナナ園観光 日月潭	10月26日 (木)	台中 台中市立「仁愛之家」 (老人ホーム)訪問 バスにて台北市へ
10月25日 (水)	日月潭 台中	玄奘寺、文武廟 九族文化村 バスにて台中市へ 光明寺参拝	10月27日 (金)	台北 台北市役所訪問 忠烈祠 故宫博物院 空路、関西空港・ 福岡空港へ

平成八年度 活動報告書

会員42人のうち、29人から活動報告書の提出がありました。なお、首長は①欄が空白になります。

- ① 所属委員会
- ② 本年度取り組んでいる事柄
- ③ 今後取り組みたい課題
- ④ 抱負・モットーなど

楯 大亮 北海道 南富良野町長 7期
北海道・上川南・玄正寺住職

- ① 下水道事業、オートキャンプ場
- ② 町民の総親和
- ③
- ④

桜田 正弘 北海道 北見市議 7期
北海道・北見東・本覚寺衆徒

- ① 産業経済常任委員会
- ② 行財政改革 ◇青少年の健全育成と非
行防止、環境浄化 ◇廃棄物処理対策

- ③ ◇大学の誘致と地方の活性化 ◇地方の
分権拡大 ◇エンゼルプランについて
(真に子どものためになるプランとする
ために)
- ④

柴田 薫心 北海道 札幌市議 5期
北海道・札幌・宝流寺住職

- ① 議長
- ② 報酬と調査費
- ③
- ④

花本 肇正 富山県 大島町議 5期
高岡・射水・称念寺住職

- ① 総務常任委員会
- ② 議会改革について、定数問題・全員協議
会のあり方
- ③ 道路網と宅造開発による人口増
- ④ 情熱と信念で住みよい町づくり、日々是
感謝

嶋田 政憲 福井県 勝山市 4期

福井・福井・本覚寺衆徒

- ① 建設企業委員会
- ② 中部縦貫自動車道の建設促進及び道路網
の整備 ◇保育所、幼稚園のあり方につ
いて
- ③ ◇農政の問題 ◇インター周辺地の整備
- ④ ◇市街地活性化の問題
◇何事にも誠意をもって取り組む ◇即
実行

横山 善道 岐阜県 伊自良村議 1期
岐阜・黒野・金證寺住職

- ① ◇産業廃棄物処理場建設の反対問題
- ② ◇火葬場建設について
- ③ 子どもの教育、非行問題
- ④ 自然体

松井 靖典 岐阜県 河合村長 2期
岐阜・飛騨・願教寺住職

- ① 岐阜県でも有数の豪雪地帯であるため、
雪を資源としてとらえ、夏季の雪利用、
スキー場の拡充整備を実施している。
- ② 現在の子どもたちは「命」とかわる機
会に恵まれていない。したがって、「命
の尊厳」を失するような現象もでてきて
いる。今後、小動物、農業、林業も含め

て体験できる施策を展開したい。

- ④ 三つのこだわり(○小さいことへのこだわり、○雪へのこだわり、○創意工夫へのこだわり)

山田 真澄 三重県 東員町議 10期

- ① 教育民生常任委員会、議会広報委員長
② 議会広報の充実。早く正確にをモットーにしている。
③ 団地があるために10年後にはスーパー高齢者町になる。これにいかに対応するかが重点です。

- ④ “住民の立場で”をつらぬく

北川 真道 滋賀県 泰荘町長 3期

- ① 滋賀・愛知上・浄甫寺住職
② 福祉センター建設準備、下水道事業の促進
③ 温水プールの建設
④ 福祉の充実

堅田 昭磨 滋賀県 高島町議 2期

- ① 滋賀・高島・慈敬寺住職
② 総務常任委員会
③ 当初希んでいた青少年健全育成施設(子供の森)完成。敷地三千平方メートル

(千坪)

- ③ 右記施設の充実及び拡充

黒田 昭信 滋賀県議 2期

- ① 監査委員、土木企業常任委員会
② 監査委員として予算の適正な執行と生きた執行、及び各組織の活性化を図りながら、充実した県政としたい。
③ 地域の発展と人権問題の認識をすすめる。
④ 信頼される県政と宗教を社会教育の中にとり入れる。

梅津 正純 滋賀県 山東町議 2期

- ① 厚生常任委員会(委員長)
② ◇保健・医療・図書館の総合センター建設について計画 ◇下水道工事の推進、完成 ◇公的介護保険
③ ◇公的介護保険 ◇老人会対策 ◇道路整備計画 ◇環境整備計画
④ 農業事業の再発展計画、環境整備

和田 秀教 和歌山市議 6期

- ① 和歌山・和歌山北・正光寺住職
② 建設消防委員会

- ② ◇全国大会誘置委員会の設置(本市に活力を与えるため、市・県・商工会議所で組織をつくり、スポーツ・文化・福祉・医学などの各種イベントが開催できるよう取り組む。◇土木・建設その他地元業者の育成(大規模な工事を地元業者でも受けおえるようにする―業者で難しい場合は地元でJ.V.できるようにする)

- ③ 地元業者・地場産業の育成、健全財政化への取り組み

- ④ 四十万市民すべてが、公平で平等なサービスを受けられる街づくり。和歌山に生れ、育って、住んでよかったと思われる街づくり。

西殿 香連 和歌山市議 10期

- ① 経済委員会
② 紀淡海峡連絡道の建設
③ 経済の活性化(埋立地の跡地利用)
④ 生きがい、やりがいのある街づくり

永原 智徳 和歌山県 由良町議 3期

- ① 厚生文教委員
② 社会福祉事業について
③ 老人福祉問題
④ 住民福祉

藤本 和人 兵庫県 市川町議 1期

兵庫・神崎・妙楽寺住職

① 文教厚生委員会

② 行政改革

③ 人口増加、交流定住の町づくり

④ お念仏の心を身近な政治へ

小泉 玲子 兵庫県 御津町議 2期

兵庫・網干・浄泉寺衆徒

① 総務、文教、議会公報調査特別委員会

② 議会のようすを住民に伝えるのに、いかにわかりやすく、読みやすい議会報にするか、編集に力を入れている。

③ 住民福祉問題、環境問題

④ 「何事も住民の身になって」、「和顔愛語」

③ 住民福祉問題、環境問題

④ 「何事も住民の身になって」、「和顔愛語」

竺川 紹隆 島根県 金城町議 3期

山陰・福屋・浄光寺住職

① 経済常任委員会

② 本年度は改選期

③ スリムで活力のある町づくり

④ 政教の問題

小原 静也 島根県 美都町議 3期

山陰・三隅・妙蓮寺住職

① 総務常任委員会

② ゴミ処理と生活環境問題、フェアな政治

③ フェアな政治、生きていける環境をつくる

④ 胸を張れ「いなか文化」に愛してます美都町

④ 胸を張れ「いなか文化」に愛してます美都町

藤谷 一剣 島根県 匹見町議 2期

山陰・益田・蓮長寺住職

① 総務委員会

② 定住対策、福祉対策

③ 定住対策、福祉対策

④ 定住対策、福祉対策

桜井 賢三 広島県 湯来町議 2期

安芸・佐伯奥・正向寺住職

① 建設経済委員会副委員長

② 道路網の整備、福祉の充実

③ 浄土真宗のみ教えをいかに社会に浸透させていくか

④ 自信をもって体当たり

藤谷 光信 山口県議 2期

山口・岩国・教蓮寺住職

① 厚生委員会

② ◇老人、障害者福祉 ◇教育問題 ◇災害問題 ◇交通渋滞対策 ◇財政問題

③ 地方分権、地域開発

④ 県民の立場に立った県政の推進

熊谷 宗圓 山口県 岩国市議 2期

山口・岩国・西福寺住職

① 総務常任委員長

② 公園整備、観光行政

③ 文化、教育の改革推進

④ 早期・実践

久保 玄爾 山口県 防府市議 4期

山口・防府・信行寺住職

① 総務委員会

② 企業誘致と環境問題

③ 新ゴールドプランと高齢化社会

④ 奉仕

秋里 勝道 山口県 美東町議 4期

山口・美称東・明楽寺住職

① 建設委員会

② 地方分権

③ 老人介護、療養型病床群

④

川越 証真 山口県 美称市議 7期

山口・美称西・西音寺住職

① 総務企業委員会

② 産業地域の振興

③ 人口定住

④ 真実を求めて

國東 利行 大分県 宇佐市議 3期

大分・宇佐・極楽寺住職

① 文教社会常任委員会

② ◇教育問題 ◇図書館建設 ◇文化財問題

③ ◇教育問題 ◇文化財問題

④ 一步一歩着実に

衛藤 龍天 大分県 久住町長 4期

大分・岡・安照寺住職

① 大分県町村会副会長

② “地球にやさしい村”の指定を受けている

ので、○生活、生産両面にわたる環境改

善 ○住民の環境保護の運動と教育

③ 農村と都市の交流による地域活性化、○

町営国民宿舎の改善 ○グリーンツーリ

ズムによる農家への滞在

④ 今私ができることを思いきってやろう。

それが住民のためになることであれば、

たとえ少々の反対はあっても。

前原 弾郎 熊本県 深田村長 5期

熊本・球磨・善正寺住職

① 郡町村会長、大学設置協議会長

② 大学設置

③ 宿泊施設設置、グリーンツーリズム基地

④ として

以上

平成八年度

世話人会報告(第一回)

一、日時 5月23日(木)

午後3時から4時30分まで

二、場所 宗務総合庁舎3階会議室4

三、内容 ①平成7年度事業・決算報告

②第3回海外視察(台湾)報告

③総会の運営について

④第4回海外視察計画について

以上

平成八年度 総会報告

一、日時 5月24日(金)

午前9時30分から正午まで

二、場所 宗務総合庁舎3階大会議室・和

室

三、開会式 ○勤行・讃仏偈 ○総長挨拶

○代表世話人挨拶

四、総会 ①議長選出 山田真澄

②平成7年度事業・決算報告

③第3回海外視察(台湾)報告

④平成8年度事業・予算案

⑤第4回海外視察計画について

10月中旬～下旬、3泊4日の

日程でタイ(バンコク)視察

の実施を決定

五、講演 講題「宗教法人法改正と仏教界」

講師 全日本仏教会社会部長

野生司 祐宏

会員の動静

(退会会員)

佐々木一法(熊本県五和町議)

熊本・天草下・西明寺住職

山根 実也(山口県柳井市議)

山口・柳井・専光寺住職



松村総長あいさつ



宗教法人法改正問題について講演



海外視察の感想発表も



もり上がった懇親会



協議会で

海外視察について

バンコクへ四日間の旅

先にご案内いたしましたのが、今年の秋に実施の第四回海外視察は、仏教を国教とする王国、タイ（バンコク）を訪問いたします。

出発は関空と福岡の二空港。飛行時間はわずか三時間余りです。日程は十月十五日（火）から十八日（金）の三泊四日。現地では国会または市庁舎、児童障害者の福祉施設の視察、有名な仏教寺院の訪問などを予定しています。短期間ではありますが、顕真会ならではの旅行になるものと存じます。

バンコク視察の帰国報告は、次回の会報に掲載いたします。

海外視察は今後も継続していきますが、これからも、ご家族、ご門徒、ご友人をお誘い合わせの上、ご参加下さい。

龍谷顕真会事務局